

令和7年度 学校関係者評価

<建学の精神>
『誠実・勤勉・努力を基本理念とする』
<学校の教育目標>
社会から必要とされ、信頼される人間を育てる。そのために次の3つを実践する。 1. 本物の「あいさつ」をする。 2. 心をこめて「そうじ」をする。 3. 「素直」な心を持つ。
<今年度の重要課題>
今年度(令和6年度)より導入した指定校推薦による入学や、令和8年度生より始まるAO入試など、それぞれ異なる入試制度を利用して入学する学生が増える。そのためこれまで以上に学力の個人差が大きくなることが今後予想される。職員のスキルアップはもちろんのこと、より丁寧でわかりやすい授業の提供や学生指導を行い、一人ひとりを大切にしていく。

評価項目	ご意見	改善事項
1 教育理念・目的 人材育成像	学校の理念や目的がはっきりしているのは良い。保護者アンケートの結果から推察すると、学校への期待度が高い。ただ、子どもの育成を学校に任せている部分が多く、アンケートの数値に表れにくいのかも知れない。	各学科に対応する業界のニーズを満たせるよう、柔軟な対応をしていく。
2 学校運営	一般の会社でも、朝礼やメールの内容が周知徹底できるかという点難しい。「ここを見れば学校の考え方やルールが分かる」というものが有れば、運営方針や意志決定について周知ができるのではないかと。年代や個性に合わせて、タブレットを利用するのか紙媒体なのか等を使い分けることも有効なのでは。また、生成AIの利用が一般化してきたので、利用する側はもちろん、AIを利用した成果物を読む側の技量も必要だと思われる。	年代によって、情報をどう得るか、その手段が確かに違っているが、順次ペーパーレス化を進めるための仕組みや、システムを取り入れていく。
3 教育活動	学校内で行われている就職対策授業に参加させてもらったが、学生さんの反応がとても良く、しっかり聞いていたのが印象的であった。	科によって実施度合いに差があったインターンシップだが、どの科も企業等との関係は深まってきているので、学校に来ていただいたインターンシップを実施出来るように各科で計画を立てる。
4 学修成果	先生方のサポートにより、退学者の数が減っているのは大変素晴らしい。インクルーシブで、個を大切にする教育が今の流れでもあり、これからも一人ひとりに寄り添ってあげてほしい。	問題の無い学生ほど、担任や学校に迷惑をかけないよう気を遣うので、誰にでも何時でも頼ってもらえるように努める。
5 学生支援	就職に関してはどのような状況か。	売り手市場で、就職率は良い。就職への動きが遅い学生をサポートし、背中を押してあげる。

評価項目	ご意見	改善事項
6 教育環境	引き続き教育環境の整備に努めていただきたい。	校内へのインターンシップ実施に向け、体制を整える。
7 学生の受入れ募集	AO入試に対する反応が良かったとのことで、何よりであった。	AOエントリー数を増やすため、提出書類の内容等を見直す。
8 財務	入学生数が昨年度より増えたということで、良かった。引き続き工夫を重ねていただきたい。	学生数の維持、増加を図ることで財務基盤を安定させる。
9 法令等の遵守	問題は無いと思うので、引き続き適正な運営を期待する。	個人情報等の管理について大きな問題はないものの、日々の業務において細かな点では改善すべき点が散見される。より一層、法令の遵守に努める。
10 社会貢献 地域貢献	若い方が積極的に外に出られるよう、機会を作ってあげてほしい。 上田市の産業展に参加していた学校などあったが、そういったことはどうか。	産業展やボランティアへの呼びかけやお誘いなどはあるので、内容の検討やカリキュラムの調整等を考えたい。学校全体として、学生が地域や街中と関わりを持てるような機会を創っていく。

第2回学校関係者評価委員会 実施日時:令和8年3月25日(水)10:00~10:50

学校関係者評価委員(50音順)

佐藤 正 元丸堀自治会 副自治会長 元長野県労働金庫 業務役
 田子 拓也 住友林業株式会社 住宅事業部 信州支店 店長
 羽毛田 哲朗 上田市教育委員会 生涯学習・文化財課 青少年係 指導主事 元上田千曲高校 校長

学校職員(オブザーバー)

比田井 美恵 学校法人 上田佐藤学園 上田情報ビジネス専門学校 校長
 比田井 和孝 学校法人 上田佐藤学園 上田情報ビジネス専門学校 副校長
 山極 学 学校法人 上田佐藤学園 上田情報ビジネス専門学校 教頭
 高見澤 なが子 学校法人 上田佐藤学園 上田情報ビジネス専門学校 事務主任